

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

1. 日時：平成 25 年 10 月 1 日（火） 9：35～12：20
2. 場所：安来市立母里小学校 多目的室、体育館前（雨天時：図工室）
3. 対象：6 年児童 11 名
4. テーマ：安来市の遺跡や古代の人々の生活にふれてみよう
5. ねらい：○安来市の古墳を中心とした遺跡について知り、文化財に対する興味や関心を高める。
○勾玉づくり、衣装体験を通して、古代の人々の生活の様子や技術などについて学ぶ。
6. 展開

学習活動	支援や留意点	準備物等	担当	時間
① オリエンテーション ・あいさつ ・学習の流れ確認	・ゲストティーチャーの紹介 ・学習の流れを説明する。		担任	9：35 ～ 9：45 (10 分)
② 安来市内の遺跡について知る	・身近にある遺跡について、古墳や出土品を中心に紹介する。	PC プロジェクター スクリーン 実物資料	埋文センター	9：45 ～ 10：15 (30 分)
③ 勾玉づくりをする。 ・勾玉について学ぶ。 ・勾玉をつくる。 ・古代衣装を着て、記念撮影をする。	・古代の人々の精神文化や技術の高さについて説明し、勾玉作りへの意欲を持たせる。 ・子どもの作業の情う今日を見て、個別に支援する。 ・全体写真、個別写真を撮る。	勾玉づくりセット 古代衣装 カメラ	埋文センター 担任	10：30 ～ 12：00 (90 分)
④ 学習のまとめ ・感想発表とあいさつ ⑤ 片づけ	・一人ずつ感想を発表できるようにする。 ・協力して片づけをする。		担任	12：00 ～12：10 (20 分)

7. 事前の準備

母里小学校・・・PC、スクリーン、プロジェクター、ブルーシート
 埋文センター・・・勾玉づくりセット、資料、出土遺物（玉類）
 安来市教委・・・伯太町内出土遺物（土器・埴輪など）※借用